２０１９年　韓国国際ジュニア
本大会・遠征レポート

遠征期間　：2019年　8月14日（水）～8月24日（土）
第1戦　：2019　KETF　KOREA　INTERNATIONAL　JUNIOR　CHAMPIONSHIPS　SERIES 1 / Yanggu
第2戦　：2019　KETF　KOREA　INTERNATIONAL　JUNIOR　CHAMPIONSHIPS　SERIES 2 / YeonCheon

8月14日（水）
出発
金浦空港・仁川空港

各選手期待と不安を持ちながら日本を飛び立ち、いざ韓国へ。
金浦空港と仁川空港に到着後、第１戦会場の「ヤング」に移動。送迎バスで2時間の道のりです。
テニスという同じスポーツで切磋琢磨する仲間同士打ち解け合い、すぐに仲良くなりました。

宿泊ホテル

第1戦会場の宿泊ホテルに到着。ホテルにチェックインした後、軽いアップを行いました。
夕食はホテルの食堂で初めての韓国料理を食べました。
大会期間中の朝食は、ライスバーガーやホットサンド、海苔巻き。昼食は試合の合間にとんかつ弁当やカラアゲ丼を食べました。

8月15日（木）～8月19日（月）
第１戦スタート

第１戦、ヤング大会が行われました。メイン会場、高校コート会場に分れ行われました。
期間中、雨にも見舞われましたがインドアをコートを利用して進行されました。
日本チームは毎日早朝から練習を行い試合に臨み、１０歳以下男子シングルス準優勝という好成績を収めました。

レセプション パーティ

8/21（水）レセプションパーティーに、大会関係者・各国選手とともに招待され盛大に行われました。国別に分かれて着席。市長や連盟会長等の挨拶から国別のチーム紹介があり、乾杯、食事という具合に進みました。食事はビュッフェスタイルで、マナー良く食事をとりながら楽しい時間を過ごしました。

交流マッチ練習

トーナメントで敗退した選手は、メイン会場と近くの高校のコートに分かれて練習試合を沢山行いました。小学校時代から外国人選手と試合が出来るのは凄く貴重な経験です。言葉の壁など関係ありません。身振り手振りで状況を打破しようとしていました。その対応力に驚きです。
期間中は、番外トーナメントも行いました。選手たちは本大会さながらの集中力で頑張りました。

サービスコンテスト Part 1

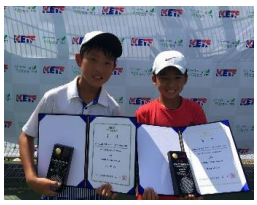
第1戦サービスコンテストが行われました。
試合の時とは一味違った真剣さでサーブを打っていました。見事に的を当てた選手達は、色々な商品を受け取り喜んでいました。

第２戦へ移動
宿泊ホテル

８月１９日（月）第１戦の表彰式後、第２戦会場のある「ヤング」へバスで移動しました。
第２戦会場の宿泊ホテルに到着。ホテルにチェックインした後、ホテル近くのレストランで夕食を摂りました。明日の勝利を目指してたくさん食べました。

８月２０日（火）～
８月２４日（土）
第２戦スタート

第２戦の会場「ヨンチョン」で行われました。第２戦は3会場に分れて試合が行われ各会場にて早朝練習を行い試合に臨みました。２大会目ということで、みんな奮起して、多くの選手が初戦を勝ちあがりました。ここでも日本選手は大活躍。
１０歳以下男子ダブルス準優勝という好成績を収めました。

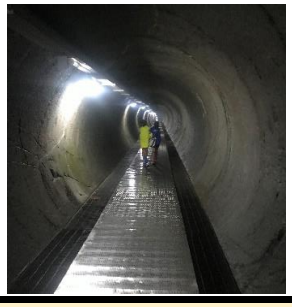


サービスコンテスト
Part　２

ヤング大会に引き続き全選手によるサービスコンテストが行われました。
賞品が絡むと目の色が変わるジュニア達。中にはラケットを当てている日本人選手もいました。

社会科見学

8月18日（日）の午後は、連盟主催の社会科見学が行われ、北朝鮮を眺めることのできる乙支（ウルチ）展望台に行きました。天候もよく、北朝鮮を見ることができ大変良い経験をしました。そこから更にバスで移動をし、「第4トンネル」に行きました。薄暗いトンネルを歩き、トロッコに乗り緊張感の高い、貴重な体験をすることができました。



番外編
こんな施設でした

ヤング　試合会場/買い出し用スーパー

ヨンチョン試合会場

総　評

今回参加された選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。

海外という日常とは違う環境の中での試合、練習、生活の毎日は参加した選手にとってタフな経験だったと思います。試合結果だけでなく、遠征での様々な場面で頑張った経験が今後の人生に生きてくることと確信しております。参加者の皆様の今後の活躍を心より願っております。

最後になり恐縮ですが、このような貴重な体験をお与えくださった保護者の皆様、ご協力頂いた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

2019韓国国際ジュニア大会・引率ディレクター　池口　一裕